



長野大学キャンパスニュース

CAMPUS NEWS vol.118



撮影：長野大学 カレッジスクエア

SPECIAL
FEATURE
特集

地域協働型教育の実践／オンライン留学
夢チャレンジ2020／内定者インタビュー

REGULAR
CONTENTS

地域 × 研究
長野大学 研究紹介

コロナ禍における、長野大学の“いま”

コロナ禍により、多くの大学でオンライン授業が実施されています。

オンライン授業は、対面授業同様に、質疑応答やグループワークなども可能です。

また、システムを活用すれば対面授業以上に理解が深まることもあり、オンライン授業に適した科目も確認されています。

一方で対面授業でしか実現できない教育もあります。

本学ではオンライン授業と対面授業、それぞれの強みを生かしながら、学生の学びを支えています。



地域協働型教育の実践

長野大学の教育の特徴の一つに「地域協働型教育」があります。

これは地域住民や企業などと協働しながら、自分事として地域にある課題に向き合うもので

学生たちはこうした経験により、地域から求められる人材へと育っていきます。

今回は実際に行われている特徴的な活動を紹介します。



企業情報学部 松永ゼミ

課題

社会変動に適応した
新たな働き方の
構想

学び

企業情報学部の
人的資源管理・
質的調査法

組織

エスノグラフィー
プロジェクト



建設企業現場
管理者の方へのインタビュー



ハードウェア開発企業
若手社員の方へのインタビュー

私たちの社会を支えるのは人々の日々の仕事です。そしてコロナ禍によるテレワークの普及が如実に示すように、どのような働き方が望ましいかは社会状況によって目まぐるしく変化します。

松永ゼミでは、上田地域の企業を中心に学生自らが働く人々と関わり、その語りや行動を記録する「組織エスノグラフィー」をはじめとした、多様な質的調査法を駆使して組織と働き方をめぐる課題を捉え、新たな時代に適応させていくための方策を学びます。

ゼミ生は、個々人の関心に基づいて研究テーマを設定し、グループになって調査研究を推進します。雇用・労働に関する知識を学ぶだけでなく、地元企業の方々と調査を通して主体的に関わりながら学ぶことによって、不確実な時代を柔軟に生き抜く思考を身につけます。

学生の声

地元企業へのフィールドワーク調査を通して、実際に社会で活躍されている企業や従業員の方たちの話を聞き、座学だけでは知ることができないリアルな経営戦略や人事制度について知ることができました。調査で得た経験や知識は、就職活動時や社会人になってからも自分自身の役に立つだろうと感じています。



企業情報学部2年 藤井 翔大さん

環境ツーリズム学部 熊谷ゼミ

課題

空き家・廃業旅館
活用と
地域活性化

学び

環境ツーリズム
学部の
観光まちづくり

活性化拠点
リノベーション
プロジェクト



歴史的町並み学習
(木曽)



老舗旅館のロビーを
リノベーションした
会議場でゼミ学習

オーナーと一緒に
活用に取り組む
空ペンション



大学周辺には、温泉地、歴史的町並み、高原リゾート等の観光地が多数あります。ここでは、宿泊事業の事業継承や、廃業した施設を有効活用しながら、観光地の持続可能性を高めることが課題となっています。熊谷ゼミでは、商都小諸の歴史的町並み調査や景観保全手法の学習を行うとともに、来街者に町並みの魅力を知ってもらう機会創出に地元住民組織と連携して取り組んでいます。

また別所温泉において、閉館していた老舗旅館のリノベーション計画の策定支援と、有効活用に向けた実験・試用を進めています。所有者と連携し、1年次のゼミではまちづくりの基礎を学ぶ場として活用するとともに、2年次以上の専門ゼミで、リノベーションを通して空間デザインや歴史環境保全のあり方を学習しています。

学生の声

別所温泉の象徴的旅館、峰の原高原のペンションを対象に、フィールドワークと振り返り・活用企画の作成に取り組んでいます。遊休宿泊施設を元の機能以外でどのように活用していくかは、地域おこしに関わる重要要素だと感じました。学習の一環として、自らも自由な発想でさまざまな活動にチャレンジしたり、仲間と協働できる場づくりに取り組む予定です。



環境ツーリズム学部1年 田村 星名さん

社会福祉学部 丹野ゼミ

課題

現在の学校が
抱える
諸課題への対応

学び

自立活動の視点を
基盤にした
事例検討
(振り返り)

幼稚園・小学校・
中学校等での
サービス・ラーニングを
通じた力量形成



幼稚園での活動の様子



学生の声

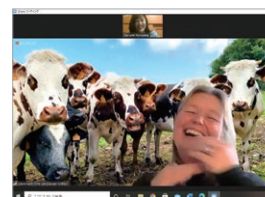
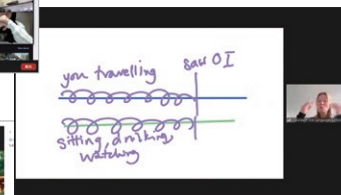
子どもの実態を適切に把握し、適切な指導・支援を考えられるような教師をめざしており、『「障害」で子どもを見るのではなく、「その子本人」をよく見る』という視点を常に大事に子どもたちと関わっています。現在は、現場の人手不足である状況、コロナ禍だからこその勉強面での不安を解消してほしい、という学校側からのお願いから、地域での活動に参加させていただいています。



社会福祉学部3年 榎本 あるむさん

長大生のオンライン留学はじまりました！

ポストコロナ・ウィズコロナ時代に、世界中の学生が新しい「留学」にチャレンジしています。
今回はオンラインを使った新しい留学についてご紹介します。



オンライン留学の様子

長野大学は、一般社団法人 グローカル・リソース・センターとの連携により、オンライン留学で世界にチャレンジする学生のサポートを行っています。
社会福祉学部3年の三森知恵佳さんは、**オーストラリアILSC** のオンラインコースに参加中。

直接海外に行くことが難しいなか始めたオンライン留学ですが、想像以上にとっても充実しています。同じ場所にいなくても、さまざまな国や年齢の人と英語で会話できることは、オンライン留学だからこその魅力です。今はこの授業を通じて英語能力を向上できるよう、楽しく学んでいきたいと思っています。(三森さん)

環境ツーリズム学部3年の半澤成美さんは、**イギリスLanguages United** のオンラインコースを通じて、将来の現地留学に備えています。

毎回楽しく学ぶことができ、とても充実しています！(半澤さん)

夢チャレンジ2020

夢チャレンジ制度とは？

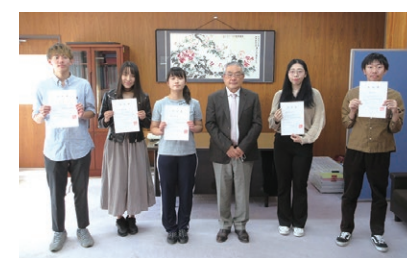
好奇心やチャレンジ精神旺盛な学生のオリジナリティーに富んだ企画の実現を資金的にバックアップする制度。「大学時代にこんなことがしてみたい」という夢を企画書にまとめ、審査のうえ、採用されると長野大学後援会から奨励金(最高20万円)が支給されます。

「さらなる飛躍」部門 2020年度採択テーマ紹介 チャレンジテーマ「長大なんだい？ どうしてだい？」

長野大学や上田地域の歴史をまとめたパンフレットづくりの企画で、公立化するまでの歩みをわかりやすく紹介しています。先輩たちから引き継いだこの企画は、自分たちが通う長野大学について深く知り、長大生としてのアイデンティティをもってほしいという思いからスタートしました。デザインする際には最後まで飽きずに読めるよう、イラストや写真を用いたり、パッと目を引くコピーにこだわりました。



パンフレットデザイン



夢チャレンジ認定式



長野県庁 (福祉職)

社会福祉学部 長野県 私立伊那西高等学校出身 砂場 美優さん

幼い頃から、身近に障がいを持っている家族がいて、地域の方が気にかけてくれたことや、多くの方の支援のおかげで地域で孤立せずに生活することができました。このため将来は地元をはじめ長野県に恩返しをしたいと考え、社会福祉学部に進学しました。大学では特に子どもの居場所づくりをテーマに、子ども食堂でのボランティア活動で行事の企画や運営を任されるなど、やりがいも大きかったです。将来は、「一人ひとりの居場所がある長野県」を目標に、長野県の人々が安心した生活を送ることができるよう頑張りたいです。



新潟県公立学校 (中学校教諭)

社会福祉学部 新潟県立三条東高等学校出身 小杉 賢太郎さん

所属する教職サークルでは、教育や社会の問題に関するディスカッションや模擬授業を行うほかにも、英語教室やイベントサポートなど、子どもたちと関わる実践的な活動もしています。部長になったときは、多様な意見を持つ一人ひとりを尊重しながら人間関係を築くことに苦しみました。出身地である新潟県教育方針「個を伸ばす教育」に共感し、来年からは中学校教諭として社会に出ます。生徒たちと向き合う時、サークルで培った集団をまとめる力を活かしたいです。



上田市役所 (行政職)

環境ツーリズム学部 新潟県立柏崎高等学校出身 渡邊 黎央さん

高校時代に地元の祭りや商店街がさびれていくのを感じ、地域を盛り上げる学びをしたいと見つけたのが長野大学でした。ゼミでは上田市の海野町商店街で小学生の親子をターゲットに、各店舗での体験型イベントの企画運営に取り組み、相手の思いを汲む大切さを実感しました。卒業後は出身地に比べて穏やかな気候で住みやすい上田市の魅力を広く発信する存在として、上田市役所で移住定住支援の仕事をやりたいです。



新光電気工業株式会社

企業情報学部 静岡県 私立静岡北高等学校出身 金沢 杏夏さん

大学のゼミで力を入れた活動のひとつが、富士通の休眠特許を活用した新商品や事業を開発するプロジェクトです。4年次は芳香剤などを考案し、地域の製造業の企業と協力して試作品も制作。商品化のためには利益も追求する必要があるというシビアな面も学びました。そうした体験から、長野から世界へとビジネスを展開するものづくり企業である新光電気工業に興味をもちました。大学での4年間で続けたアルバイトのバイトリダーの経験も活かしつつ、仕事に励みたい です。

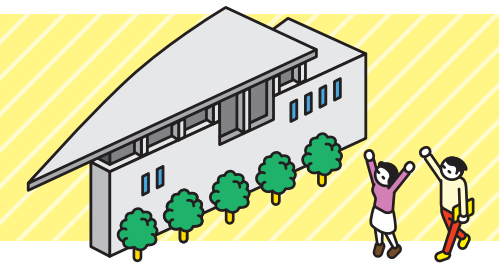
内定者紹介

【夢をかなえた先輩たち】

内定者インタビュー

4年間のキャンパスライフで先輩たちは何を学び、何を見つけたのか。

就職活動を終えて、これから社会に羽ばたいていく学生たちに取材をしました。



東日本旅客鉄道株式会社

環境ツーリズム学部 岩手県立盛岡第三高等学校出身 山口 まどかさん

高校2年の時に行ったニュージーランドで言語を通じて外国人と交流する楽しさを知り、インバウンド事業に関心をもつようになりました。中国語がまったく話せないなかで受講した国際キャリア特別コースでは、中国人留学生と交流を深めるうちに中国語の面白さにはまり、2年次後期からは中国に留学。その結果、中国語検定でHSK6級を取得するまで成長することができました。東日本旅客鉄道では得意の語学を駆使して、どんな人にも素早く正確に対応できる人になりたいと思います。



長野県労働金庫

企業情報学部 長野県諏訪実業高等学校出身 加藤 諒一さん

ゼミでは県内企業の課題発見・問題解決活動に打ち込みました。私は1年次からゼミ長兼グループリーダーを務め、当初は緊張からグループトークを自分が主導すべきと空回りしていました。しかし、活発的なグループワークにしたい思いもあり、先輩からのアドバイスも受け、次第にグループ全体の意見を大切に、みんなが納得できるアイデアを組み立てられるようになりました。卒業後はこの学びを活かし、金融業から長野県で働く人々の生活や夢を支えていきたいです。



諏訪赤十字病院

社会福祉学部 長野県岩村田高等学校出身 村山 祐輔さん

高校の職業体験で出会った医療ソーシャルワーカーの方が、医師や看護師、家族と連携しながら協働する姿を見て興味をもちました。2019年の台風19号による豪雨災害では学生間でグループを作り、車を出す人やスケジュールを集める人など各自が自発的に行動。そのときのボランティアコーディネーターの経験から、いざとなった時に災害救助活動などを行う地域に根ざした諏訪赤十字病院を志望しました。患者さんが安心して治療に専念でき、相談しやすい医療ソーシャルワーカーになりたいです。



ホクト株式会社

環境ツーリズム学部 長野県小諸高等学校出身 両角 輝さん

農業を営む祖母が害獣の被害に悩んでいたことから、狩猟に興味をもちました。罾猟の免許を取得して、上田市内の狩猟者の方々と多くなったシカなどの個体数の調整や管理にも取り組みました。この活動が里山の環境保全になり、環境とジビエ料理の提供など観光の面からも地域活性化につながる可能性を考えるようになりました。卒業後は独自の技術で海外にも進出しているホクトで働きながら、地域活性化の活動にも力を入れていきたいです。



人口減少社会のなかで考える
社会福祉のあり方とは

社会福祉学部 矢野 亮 准教授 【担当講義】社会福祉政策 他

地域と連携しながら進める 生活保障と限界集落の研究

現在は主に2つのテーマで研究を進めています。

1つ目は「生存保障システム」で、生命や生存をつないできた社会的仕組みが時代的・歴史的な文脈のもとでいかに変容し、現在の社会福祉を形成してきたのか。1990年代以降のグローバル化・高度情報化・少子高齢化における各種の政策を社会科学的に解明することを目的としています。

2つ目は「限界集落の社会福祉政策」です。限界集落とは、集落における高齢化率が50%を超えたために共同活動の機能が低下し、社会的共同生活の維持が困難な集落のことで、全国で2万以上あると報告されています。ゼミの研究チームでリサーチしたところ、長野県の77市町村のうち、すでに約29が将来その傾向にあり、隣接県でも同様の推移がみとめられました。限界集落という概念を提唱した元長野大学教授の大野晃さんは、これらの集落を「現代的貧困の蓄積地域」として自治体行政による生活保障の重要性を訴えてきました。大野さんによる緻密な実態調査は2008年が最後となりましたが、この分析概念を用いて地域の人々の生活を把握する調査研究を進めています。また、大学院では「最低生計費試算調査プロジェクト」に参画し、地域課題の解決策を模索しています。

先達が科学してきたことを理解し、 継承できる授業づくり

授業では、社会福祉政策の国際比較を通じて日本の政策的課題を明らかにします。そしてグループディスカッションなどを行いながら、地域や家族など、私たちの生存にとってより身近な社会的仕組みについて考えていきます。社会福祉政策が公共政策のなかのどの部門に位置づけられてきたのかとい

う歴史的な経緯を確認しながら、社会福祉政策の意義についての理解を深めていくこと。社会科学の先達がどのように「社会」を構想し、社会問題を解決しようとしてきたのかを踏まえ、現在生じている諸問題に社会福祉政策がどのように対応していけばよいのかを資料やデータにもとづき熟考していきます。貧困などの長期的にしか解決しえない課題について取り組んでいます。

研究活動を通じて、地域貢献できる力を育む

専門ゼミナールには現在、「地域アセスメント研究チーム」「限界集落研究チーム」「社会福祉の政策と歴史研究チーム」の3つの活動があります。それぞれ国内外の文献講読や社会調査などを行い、住民が直面している地域生活課題を把握する力や情報を多角的に分析する力、さらに課題を解決するために住民や行政、民間団体等と問題意識を共有・連携して社会を構想する力を身につけていきます。最終的には専門ゼミナール報告集や卒業論文としてまとめています。

矢野亮准教授からのメッセージ

将来、資格を活用してより高い専門性を発揮し、長く仕事を続けられるように、その基盤となる教養を重視しています。積極的に行動しそれを振り返ることで考えながら動ける「考動力」を促しています。コロナ渦だからこそ深く考え、学び続けることの大切さに気づいてもらいたい。その基盤となる知識や技術、学問の価値を伝達できるように助言・指導しています。ぜひ楽しみながら、たくさんの気づきを得ていきましょう。



言語を通じて人や国を理解し
相互容認できる
社会づくりを考える

環境ツーリズム学部 宮本 大輔 准教授 【担当講義】中国語、課題探求ゼミナール

「拒絶」という言語行動から見る日本と中国

私は現在、2つのテーマで研究を行なっています。同じ漢字文化圏にある日本と中国ですが、その言語構造や言語使用習慣は大きく異なります。実際に言語使用習慣を習得するのは容易ではなく、母語話者と学習者の間でコミュニケーションの齟齬が生じる場合が見られます。

1つ目の研究「コミュニケーション・ストラテジーの日中対照研究」では「拒絶」という言語行動に着目し、1200人の日本人と中国人を対象に調査。それぞれの母語で他者からの依頼や勧誘、助言を断る場合、どのようなコミュニケーション・ストラテジーを用いるか、また日本人と中国人で断り方に違いがあるのか、データを集めています。いずれはほかの言語行動についても調査し、現代中国語におけるコミュニケーション・ストラテジーを体系化できればと考えています。

地元住民と外国籍住民の 共生社会の実現をめざして

もう1つの研究は「多言語サービス」です。近年、ビザの緩和や在留資格の新設等により、日本を訪れる外国人観光客や日本に長期滞在する外国籍住民の数が増加しています。それに伴い、自治体による情報の多言語化、観光地や駅などで見られる多言語表記といった多言語サービスが増えてきました。1年生を対象とした課題探求ゼミナールⅡでは、長野県内の自治体や観光地が行なっている多言語サービスの実態を把握するため、上田市役所や上田城、長野県国際化協会、善光寺でフィールドワークやインタビュー調査を実施。今後は長野県内に居住する外国籍住民の方に対する聞き取り調査等を行い、自治体などに対して提言をしていけたらと考えています。

中国を知るきっかけは 1冊の本がきっかけだった

そもそも私が中国という国に興味を抱いたのは小学生の時、『三国志演義』を読んだのがきっかけです。そこから中国のさまざまな書籍を読むようになり、中国語を学び始め、大学では中国語を専攻しました。

言語を学び続ける面白さは、円滑にコミュニケーションが図れたり、笑うツボがわかったり、口喧嘩ができるといったように、相手をより深く知ることができることです。また、発音がネイティブに近づいたり、表現の幅が広がることにより、自分の成長を把握しやすいのも楽しさにつながっています。

今後も増えていくと考えられる外国籍住民の共生社会の実現に大切なことは、双方向的な認知と容認です。その実現に向けて、研究を通じてどのように貢献できるか考えていきたいです。

宮本大輔准教授からのメッセージ

論語に“知之者不如好之者、好之者不如樂之者（これを知る者はこれを好む者に如かず、これを好む者はこれを楽しむ者に如かず）”という一節があります。その意味は、何事も自ら主体的に楽しんで学ぶことのできる人が一番だということです。

大学では自分が選んだ学部の専門科目に加え、さまざまな分野の講義が開講されています。興味・関心の幅を広げ、学ぶことを楽しんでください。



大村 翼さん 企業情報学部1年
(長野県上田染谷丘高等学校出身)

上田市中部の商店街で生まれ育ち、将来、商店街を担う存在になるために、地元の大学で経営を学びたいと長野大学に進学した大村さん。入学直後から新型コロナウイルスの影響でオンライン授業になりましたが、「この時期だからこそ自分ができることを」との思いで、学部を超えた学生主体のボランティア活動に参加しています。今後は同じ思いを抱く仲間を集め、商店街のイベントの手伝いなどを通じて、商店街を盛り上げる大きな企画を考えることが目標だそう。地域に根ざし、ゆくゆくは両親のように会社を経営したいと語る姿に頼もしさを感じました。



藤多 梨里香さん 社会福祉学部1年
(群馬県前橋市立前橋高等学校出身)

障がいを持つ兄をサポートし、同じような境遇の人々を支援しながら、2人の姉たちのように教員になりたいという夢がある藤多さん。社会福祉の勉強と教員免許の取得ができ、ボランティア活動や実習が充実している長野大学に入学しました。現在は上田市第四中学校のボランティアに参加。積極的な生徒たちの姿勢から、日々、自分の身になる学びができているといいます。「これからもボランティアをはじめ、私ができる活動は積極的に取り組みたい」と話すまなざしは、未来を切り拓く強い意志と明るさに満ちていました。

長野大学キャンパスニュース

CAMPUS NEWS

vol.118

発行: 2020年12月

長野大学アドミッションセンター運営委員会

〒386-1298 長野県上田市下之郷658-1

TEL: 0268-39-0020

mail: kouhou@nagano.ac.jp

ホームページ: www.nagano.ac.jp



入試情報 一般選抜

試験区分	募集人員	願書受付期間 (消印有効)	試験日	試験科目・配点	試験会場
前期	社会福祉学部 45名	2021年 1/25(月) ～ 2/5(金)	個別学力 試験を 課さない	大学入学共通テストと「業績書」の総合点で判定 ●大学入学共通テスト 【社会福祉学部】 ・「国語」(200点) 必須 ・「外国語」(200点) 必須 ・「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」の受験した科目の中から上位2科目(100点×2=200点)。 計4科目 計600点に業績点4点を加え、604点満点で判定する。 【環境ツーリズム学部】【企業情報学部】 受験した科目を100点満点換算し、上位4科目(100点×4=400点)を活用する。4科目の上位2科目をそれぞれ2倍して200点満点とし、残り2科目をそれぞれ100点満点とする。 計4科目 計600点に業績点4点を加え、604点満点で判定する。 ※国語と外国語は200点を100点に換算する。 なお、同一教科の2科目でも有効とする。「理科」の「基礎」を付した科目については2科目で1選択とする。	—
	環境ツーリズム学部 32名				
	企業情報学部 32名				
公立大学中期	社会福祉学部 30名	2021年 1/25(月) ～ 2/5(金)	3/8(月)	大学入学共通テストと個別学力試験と「調査書」の総合点で判定 ●大学入学共通テスト 受験した科目の中から上位4科目(50点×4=200点)。なお、同一教科の2科目でも有効とする。「理科」の「基礎」を付した科目については2科目で1選択とする。 ※国語と外国語は200点を50点に換算する。 ●個別学力試験 ・「国語(国語総合)」必須 ・「英語(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ)」 ・「数学(Ⅰ・A)」の2科目から1科目を選択 計2科目各100点 計200点 計6科目 大学入学共通テスト200点、個別学力試験200点の計400点に調査書10点を加え、410点満点で判定する。	本学 長岡 東京 福島 名古屋 富山
	環境ツーリズム学部 25名				
	企業情報学部 25名				

※大学入学共通テスト実施日: 2021年1月16日(土)・17日(日) ※詳細については、学生募集要項でご確認ください。

2021年(令和3年)4月

大学院 総合福祉研究科の新設

県内初の社会福祉系大学院 2専攻を設置

日本は少子高齢化、人口の大都市集中と地方の衰退化、気象災害の激甚化等の問題を抱え、地域社会には福祉課題が山積しています。

このような事態に対し、長野大学大学院では、人々の安全・安心、地域の福祉の実現に貢献できる人材育成と研究を推進します。

社会福祉学専攻

博士前期課程、博士後期課程

発達支援学専攻

修士課程

【社会福祉学部から総合福祉学研究科へ】

学部教育の発展・深化

